

令和4年第12回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和4年12月16日(金) 午後2時00分
- 2 招集場所 大河原町役場 第一会議室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監、
- 5 開 会 午後2時00分
- 6 令和4年第11回教育委員会定例会会議録の承認について
鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。
舟山委員、小山委員 署名。
- 7 教育長報告
 - (1) 一般事務報告
報告第13号 令和4年第4回大河原町議会定例会(12月会議)の結果について
教育総務課長、生涯学習課長より説明
 - (2) 専決事務報告
報告第6号 専決処分の報告について
(工事請負契約の変更 大河原中学校校舎前屋外環境整備工事)
(令和4年度大河原町一般会計補正予算(第9号))
教育総務課長、生涯学習課長より説明
一盃森委員 | 大河原中学校屋外環境整備。立派に整備していただき大変ありがたい。
今後の校舎裏の整備も事故のないように配慮して進めていただきたい。
 - 報告第7号 専決処分の報告について
(大河原町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について)
(大河原町スポーツ推進審議会条例及び大河原町体育施設条例の一部改正について)
(令和4年度大河原町一般会計補正予算(第10号))
教育総務課長、生涯学習課長より説明。

丹羽委員	P45 給食センターの修繕料。事故現場にカメラなどはなかったか。
佐藤教育総務課長	防犯カメラが建物周辺に設置してあるが、カメラの死角部分での事故。道路に接している部分。警察にも確認していただいた。
一盃森委員	補正予算の光熱費の関係。高騰している状況で、来年度の見通しは大丈夫か。
佐藤教育総務課長	企画財政課からの情報で、25%から30%の値上がりの見込み。増額して来年度の予算要求をしている。財政的にはかなり厳しい状況。
小山委員	同じく光熱費の話。小中学校で暖房しながら、コロナの換気も必要な状況。保護者などに子どもが厚着するよう呼びかけも大事か。
佐藤教育総務課長	換気しながらの暖房なので、各学校で厚着など促すことも大事だと思う。
鈴木教育長	県内ではコロナ感染が増加傾向。冬季休業で落ち着いてくることを願う。

8 議 事 なし

9 その他

(1) 教育長報告（校長会資料による報告）

1 サッカー日本代表 三苫薫選手

- (1) 「編集手帳」(読売新聞)「出会い」
- (2) 三苫「1ミリ」残した(読売新聞)

俳優の松重豊さんと三苫選手との出会いについての話。

2 何も学んでいない

(1) 「学びの偽装—授業崩壊の新傾向—」(佐藤学)

「黙って真面目に黒板の板書を丁寧にノートに筆記はするが、全く無表情で何も思考せず、何も学んでない、学びを偽装している子供がいる」という。「教師が一方的に授業を進める一斉授業では、ほとんどの子供が学びの偽装を行っている」ともいう。つまり、子供たちがペアやグループで対話しながら学びを深める「対話的学び」が「学びの偽装」を解決していく。

(2) 算数科における新学習指導要領改訂のポイントと数学的な見方・考え方を働かせる授業の構想(笠井健一)

オンラインで校長研修が行われた。対話的学びや躰きを生かした学びなど、全員が分かる授業が大事である。

「分からないで困っている子」の思いや考えを授業の出発点とすることが大事。

3 できるようになる

(1) 「できるようになること」(浅田和伸)

今井むつみ他著の『算数文章題が解けない子どもたち』を取り上げ、「やったか」より「できるようになる」指導が大事である。

(2) 『算数文章題が解けない子どもたち』(今井むつみ)

躓きの原因が見えれば、若い先生にも役立つ。

4 不登校について

(1) 「令和3年度宮城県長期欠席状況調査の結果及び対応について」

(宮城県教育庁義務教育課)

(2) 山形県村山市PTA連合会等の取り組み

幼児段階からの『家庭教育』の大切さに気付く。「基本的生活習慣」「意欲を持たせる」「親子のかかわり方」「不安などの解消」「勉強の習慣」など、若い保護者に啓発していく必要がある。

メディアとの正しい付き合い方で不登校が減少した事例。本町も、来年度の「明日青のつどい」で子どもたちに考えさせ、まとめたものを全町民へ配布したい。

5 基本的生活習慣「挨拶」(児島邦宏)

基本的生活習慣の一つである挨拶については、本来、家庭教育の役割であるが、学校がこの問題を放っておくことはできない。しかし、家庭の協力がないと良くはならない。保護者啓発は容易なことではないが、子供会育成会等と連携し地道に取り組んでいくしかない。

6 部活動の地域移行を考えるシンポジウム(資料)

県内では、まだまだ進んでいない状況。部活動の地域移行は、これからいくつもの課題を解決していかなければならず、覚悟をもって取り組んでいかなければならない。

アンケートを踏まえ分析すると、主体は大河原町教育委員会で、派遣するスタイルが良いと考えている。

指導者も、大学や企業力を借りて取り組みたい。

7 その他

資料に基づき連絡事項・授業・行事・交流会・研修会等の説明。

一 盃 森 委 員	土日の部活動地域移行の話。ガイドラインが県教委から示されるのはいつ頃か？
鈴 木 教 育 長	まだ出ていない状況。年度内に出る予定か。
一 盃 森 委 員	ガイドラインが示されると、ある程度沿った形になると思う。それを踏まえて、関係機関の力を借りながら進むと思っている。 運動部が中心だが、文化部。えずこホールなどとの連携も視野に入れてやっていけるのではないか。ダンスや演劇など。
鈴 木 教 育 長	もちろん文化関係の指導者開拓時は、えずこホールも視野に入れてやっていきたい。
丹 羽 委 員	同じく部活動地域移行関係。財源と保険は。
鈴 木 教 育 長	スポーツ庁から出された積算では国 1/3、県 1/3、町 1/3 での事業と示されている。コーディネーター経費や会議費、指導者謝金など。 保険について、就学援助世帯などの大会等参加費は国で助成。今後の人数により積算が必要。参加は中学生の自主性に任せる。 平日もすべて地域に移行となれば、学校教育から離れて地域で育てるようになる。学習指導要領も変わると思う。 学校教育から部活動が切り離された場合に、どのようにしていくか大きな問題となる。教育委員会として子どもを育てる、中学校教育の在り方を根本的に考えなければならない。
丹 羽 委 員	初期不登校のオンラインの話。大河原にもケアハウスがあるが、他の市町だと行きやすい子がいるかもしれない。
鈴 木 教 育 長	他市町から通える「仙南けやき教室」がある。
小 山 委 員	部活動地域移行のアンケートの話。子どもたちの方向性が分かる良いアンケート。地域移行が良い形で進んでほしい。子どもたちにとっても、先生以外との交流のチャンスとなる。
舟 山 委 員	P6 学びの偽装の話。今後、タブレットでの授業などが進むが、先生は子どもたちの学んでいる深さを見るテクニックが要求される。小学校の低学年時は対面での授業が良いと思う。初等教育から取り残されないように。
鈴 木 教 育 長	子どもを見る目。子どもの表情などを見るのが大事。
一 盃 森 委 員	土日の部活動地域移行の話。中学校の学習スタイルが総合的な学習に近い形に将来的に変わっていく。逆に、幼児教育、初等教育はきちんと学んで身につけさせる期間。令和のスタイルになっていくと思う。 学びの偽装の話。授業をやった気になっている。事前の教材研究が大事。
丹 羽 委 員	板書は、授業終了まで残していただくとありがたい。子どもの書き写すスピードが違う。
一 盃 森 委 員	挨拶の話。学校と家庭が繋いで、子どもを育てていくのが大事。

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

行事予定について説明。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和5年1月18日(水)午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時15分

令和5年1月18日

署名委員

署名委員